す

の

習

慣

変

でと

が

同

じ

<

レ



10月号

んな

人を

師と仰いで

いるか

で変わっていきま

変

の

時代であるからこそ、その

時

な 代 ま

人

人で磨か

て し

き き

ます

0

どんな

は京

とを

重

ねて ŧ

い

ま の会に

先

日

東

参

れ加

いて

ま

し

た

が

ع

てフィ お 月 を

の

ドバックすること;考えていることを

で 述

自

己 聞 0 者

肯

定

行

そ

の 各

都度

1 府

0 県

0 で

2

0

が

べ

•

い 名

た

ŧ 参 な

の 内

経 木

営

会

の

入 <

企

 $\pm$ て

のく

る

が

て

IJ

ま 社

互

社内報 第226号

発行日 2025年10月24日

#### 株式会社 横浜セイビ

発行責任者:津幡 哲也 電話 045-871-8394 FAX 045-871-8374

『共有・共感・共振・共鳴』 ~成長はみんなのために~



くことと 代 が 変わっ ても 変えてはなら

いでしょうか 一人一人 ま めか 分 年 時 て がな す Ξ 明 る ? か 前 代 い 実 の 際 ع ٦ いら 更 な か 日 ۰ ج ح ۲ く成一 にレ い に百 ٢ ?

し てル昨な来前ら 会ア 社ッ のプり 成し今 くし組は交中 し で 毎 <u>流 で</u> 長て日成で昨まれ すをみ紅ちと気けないがすに楽ヵしすのそたば過高とつ友 雪军年る友 くまら 。もが月て す ちの" ◎当画りで1るも応人 当初選しま聴回歌 た つ 当時久たは保 いい儲 な自版

#### 今 Ħ 会の B 中 大 IJ 明 ゎ

В

ょ

IJ

まじ を 必 ず 購 入 す る

賏

味

**ഗ** 

否定を

行

動

に

変

え

まこりすを火、紅 定ビ 応 表 ども 観すとフ。す曜落白 募でが応 ∘もレ幅るに選歌 な名当募 を残あッ広と生続合 ど前たし でし念りシい、放き戦 はをりて はてなまュ音3送で 当 呼

思 楽は白な い 済歌み ま す で いの今 ま観年 す覧も て 申 用 い結し H 品 ま果込K 事

けせ 年 会 で

々 き

成ま 周 に を

長す

し

て て

日 い 4

の う

5 共

年 成

` 長え

ま非のてま

い安先いだ

<

て是そし

り全に

役

社

大

業 部 風 能 紀





### い **ത** あ る

感う顔 へ の 笑りで 顔笑し は顔 され 必のう 須こか て いで ますも仕 、る上 近でで 年しの はょ笑

よト着な1グや座 う 、席ら5レ、演私情 舞なもしな分|お芸の労日自さ 言の舞るのトぼ場場働本分ん 葉ま台べ持義ん東合 上の芸人さんから突然 この芸人さんから突然 でいまれなど多種の中で笑いる。こぼん、U字型 を一つで変がでいるでと、まれなど多種の中で変ができまれなどのででででででできる。 でいまれなどのででででででででででできまれなどのでででででででででででできまれた。 でいまれた。 でいまれたな。 でいまれた。 でいまれた。 でいまれたな。 でいまれた 、。し幸わ名エびし重 寄テん運せの事また視 度しでにて芋っすい視 でにて芸ゝすい なビいもく人ね 。時 らでま空れさづ売は ではす席まんつれ \_ は放 ∘なす達ちっ浅 の送漫ら。が、子草すがあ事 醍で才最せ<sub>1</sub>懐のフ 醐き 、前つ0かナラ 味なコ列か分しイン でいンにく〉のツス

の

うち

に

IJ

長 多

たきま

出合す

逢いが



東洋館

た問

だくこともあります

いやお

~舞台上からの手渡し~

、けほ笑

をにのリそ笑 心 過円ッういー ご滑トでの説 け せ化だす回に るでけ。数よ でよ周で自がる う囲な分多と す もくだい大 素明 敵る人のうい く間健がよ 笑幸関康より 顔せ係メい

ういをすやイ1は

文 称 略

В

M

田

朋

日

# 木

出場私登本い尋で袖縁才に今 逢限た場物人ねこすをはも回 さににてのり生縁身の れ出交発家合かに近特 る 生先 いい様しを大て マ出 の ź ۲ るはた生才縁 で逢 本 とま とかはにかい ッ セ物ーに よこ いす袖気とが にいとう大す づ思運 ■様々ですが、 赤い糸にはばれた 大才に要ない」ないま にならない」なるものが 大才に家を継が出 とに妙なるものが にならない」なが とにがあります。 にならない」なが はいます。柳生家 連命を変える」で どるが縁せ生縁家で 致しあがよかに家す 知 る よとす気訓。 乙 に \_ いの」づに皆 よ間 \_ 縁 戒 が い \_ さ くはよをめあて 小ん よ 間

いりち 、にも つ が波 赤がく とに様い合の のな 々糸い方 んる嬉いもよ

だ け し巡あり あ 嬉避いりり人 ま い∟逢いすを 出 た 、いや 。左そ 逢皆にあ思右の いさ用るいす出いに、 はんい人がる逢ななそ どそらとけこいどるの

## ンフフ /ザ予 の

。。受る空ンり大皆 何けな事らど 気フ月切様 のルにな う流れの悪 たエンザに は 入り急激に もれ 感 の健 心染リスクを防 派れの悪い場 k 早た で康 め方 、診 早は い感に ま断 領 <del>心 寒</del> だ は に収 すくのも 防 対 書 所 るな いで 方う 管理事業部 恋対策し、健康な言原本を本社は で 人っ は は がてぜ 下 済 普 さ 増 き ひみ 段 い。段か えたてせ 受で 診 を らマ ま ま いい いますいか、 維 たマま、スす で 。例 下 か し提予ク さ? ま出防を人年 し下接着混よい健 よさ種用みり

より ◇編集も えください。 え食 し IJ 材た朝も。晩 朝 う誕 と健も 肌寒く おご生 も康多秋 ににくは ざ日 来気栄美なるを養味り 日 いお 過 を まめ 冬つをしまぎ お 迎すで にけ蓄い

ら られた皆様です- 0月に誕生日を 月に誕生日を迎